

研究代表者 所属・職：まちづくり研究センター・准教授

氏 名：松岡 崇暢

研究課題名：知多半島内における人口増加に向けた地域づくりの成果と影響に関する研究

### 研究の目的

本研究は、まちづくり研究センターが担うシンクタンク機能を発揮し、今後の知多半島内で抱える問題として「地域コミュニティの再生」、「人口減少の抑制対策」、「地域経済やコミュニティ活動の活性化」など地域づくりに深く関連するテーマである。

地域課題である人口減少対策として、移住者増加要因を分析することを目的とした。

### プロジェクト目標の達成状況・成果内容

現段階での達成状況は、人口減少が地域の課題として取り上げられている美浜町内の特定地区における、移住者増加とその移住者が展開するまちづくりの影響を明らかにした。国内産業において衰退傾向にある、農業や農ある暮らしによる自給自足の生活を満喫する移住者の存在に着目し分析を行った。

美浜町内の特定地区における移住者増加要因は、1つ目として1筆の農地面積が狭く大規模農家の存在がほとんどおらず、耕作放棄地の発生が問題になっていた地区状況があった。2つ目に、青年就農給付金を利用した農業研修の受け入れ先が地区内の農家が担っており、研修生は通いから移住ヘシフ

トした。受け入れ先の農家は有機農法（自然農法）に取り組んでおり、研修生も同様に有機農法に関心を持ち実践している。耕作放棄地が多く狭小の農地なので、すぐに有機農法を始められ付加価値による収益増加を目指す環境があった。最後に、受け入れ先の農家や地区の有力農家が、販路確保や空き家の紹介や仲介など、農業を取り組み生活できる基盤を整えていることは移住者増加につながった。

### 優れた成果があがった点

人口減少が地域の問題となっている美浜町において、移住要因を明らかにしたことである。地区の特性と移住希望者のニーズが合致した結果であるが、参考になる知見が得られた。

### 研究期間終了後の今後の展望

今後、追加調査を実施し、移住者の受け入れ側である元々の美浜町民に対するヒアリング調査を行い、移住と受け入れのマッチング要因を掘り下げて検証する。この調査で明らかになった知見を活かし、美浜町の周辺自治体（知多半島）への波及効果などを検証したい。